

この場をお借りして、2009年度の研究室近況をご報告いたします。

まず、森川先生が春学期より中国社会科学院経済研究所へ1年間の在外研究にお出かけになりました。本号の「便り」にありますように当初少し体調を崩されていましたが、幸い回復されたようで、5月のご帰国後、たくさんの「雑談」こぼれ話をうかがうのを楽しみにしています。

また、秋学期からは、板垣先生がハーヴァード燕京研究所での1年間の在外研究を開始され、ボストンを拠点に精力的に研究活動を続けていらっしゃいます。なお、昨年12月には澁澤民族学振興基金より「第36回澁澤賞」を受賞されました。研究室一同、お祝い申し上げます。

さて、京都に残るスタッフですが、まず鯉坂先生は、日本社会学会庶務理事の激務を秋の大会で無事に終えられましたが、本号書評にありますように『都市移住者の社会学的研究』を出版されたり、大阪での都心回帰に関する調査に取り組まれたり、益々お元気でいらっしゃいます。

尾嶋先生には、PISAデータによる学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究の科研報告書を昨年度と今年度の2次にわたりまとめつつ、院生諸君を鍛えていただいています。

立木先生も、福祉防災学を掲げて、院生諸君を率い、ソーシャルキャピタル概念を軸に、災害のみならず、地域の防犯および安全に関する調査研究にも積極的に取り組まれています。

小林先生は、各学会の役職が重なり大変お忙しいようですが、このたび母校の関西学院大学より博士の学位を受けられました。長年の研究成果が出版されるのを楽しみにしています。

藤本先生は、技術者の流動性に関する日米比較研究に取り組まれる一方、今春『産業集積地の継続と革新 京都伏見酒造業への社会学的接近』（文真堂）を河口充勇氏とともに上梓されます。

鶴飼は、文科省教育GP事業の実施責任者として諸事に追われていますが、研究仲間とともに『社会ネットワークのリサーチ・メソッド』（ミネルヴァ書房）を出すことができました。

なお、ブルース・ホワイト先生は、昨年4月に、日本語・日本文化教育センター准教授として転出され、後任には、ファビオ・ギギ先生が本年9月にスイスより着任される予定です。

大学院では、吉田崇氏（現在、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター助教）が博士論文を提出され、昨年9月に課程博士の学位を授与されました。また本年3月には4名が修士の学位を得ました。2010年度には、新しく前期課程に4名、後期課程に2名の大学院生を迎える予定です。

（鶴飼）

## 社会学専攻大学院生 業績・略歴一覧

### [項目内容]

- [1] 論文（査読有。かつ単著かファースト・オーサーのもの）
- [2] 論文（上記以外の論文。本の手記執筆も含む）
- [3] 学会発表（海外・全国・地域の各学会）
- [4] 博論構想発表会での報告（専攻内もしくは同志社社会学研究学会）
- [5] 修士論文タイトル（未提出の人は予定タイトル）
- [6] 博士論文タイトル（あるいは研究テーマ。後期課程者のみ）
- [7] 非常勤講師、TA、チューターなど、教育・研究職歴
- [8] 調査報告書その他の執筆（社会調査実習報告書も含む）
- [9] 所属学会
- [10] 学歴・職歴その他

\* 以下、課程別に入学年度および氏名のアルファベット順による。

### [博士後期課程]

西丸 良一（ニシマル リョウイチ／Nishimaru Ryoichi）

- [1] 2008 「大学進学におよぼす国・私立中学校の進学の影響」『教育学研究』日本教育学会 75(1)；pp.24-33  
2010 「学力と進学期待のズレ——高校設立種別に注目した PISA 2003 データの分析」『関西教育学会研究紀要』10（6月刊行予定）
- [2] 2006 「教育における社会移動「型」の諸理論と残された分析課題」『佛教大学大学院紀要』34；pp.301-308  
2006 「大学入試選抜方法と出身階層」『佛大社会学』30；pp.57-61  
2007 「大学受験における浪人の効果——計量分析を用いて」『佛大社会学』31；pp.14-23  
2010 「入学者選抜方法による大学の学業成績——同志社大学社会学部を事例に」『同志社大学教育開発センター年報』1（5月刊行予定）
- [3] 2005 「教育におけるトラッキングと出身階層——学外教育・浪人を加えた分析」第 57 回日本教育学会（放送大学）  
2006 「教育達成における国・私立中学校の効果」第 65 回日本教育学会大会（東北大学）  
2007 「国・私立中学による大学進学効果」第 59 回関西教育学会大会（京都大学）  
2008 「中学校種別による教育達成効果——高校間格差の是正策に注目した 2005 年 SSM データの分析」第 67 回日本教育学会大会（佛教大学）  
2009 「高校の設立種別と学力・進学期待の格差——PISA 2003 データを用いた計量分析」第 61

回関西教育学会大会（大阪樟蔭女子大学）

- [4] 「教育システムにおける早期選抜と地位達成——教育達成と初職達成におよぼす国・私立中学校の効果」博論構想発表会（2007）  
「子どもの就学段階と母親の教育期待」第15回同志社社会学研究学会（2009）
- [5] 「学校設立種別と教育達成」（2005）
- [6] 「親の教育期待と早期選抜がおよぼす教育達成格差」（2009年度研究テーマ）
- [7] 2008～ 大阪経済大学人間科学部「情報処理初級・情報処理中級」  
2010～ 和歌山大学観光学部「社会調査法」  
社会調査実習（平井順 2006、越智祐子 2007、古田和久 2009）TA
- [8] 2007 「教育達成とネットワーク——子どもへの中学受験に社会資本は影響するか」鵜飼孝造編『新しいコミュニティの構想 2006年兵庫県県民調査報告書』；pp.77-93（平成16年度～平成19年度科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕研究成果報告書）  
2008 「国・私立中学校の学歴達成効果」米澤彰純編『教育達成の構造』2005年SSM調査研究会；pp.99-111  
2009 「私立高校と公立高校の学校間格差——進学期待に注目して」尾嶋文章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第1次報告書）』；pp.13-22（科学研究費補助金〔基盤研究（B）〕「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISAデータの分析を中心に」）  
2010 「入試形態からみる社会学部生」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育GP評価委員会；pp.1-12
- [9] 日本教育社会学会 関西社会学会 日本教育学会 関西教育学会
- [10] 佛教大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了（2005）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学（2005）

山本 圭三（ヤマモト ケイゾウ/Yamamoto Keizo）

- [2] 2005 「現代大学生の職業選好に関する計量的分析——島根大学調査データを用いて」『同志社社会学研究』9；pp.57-71  
2009 「現代大学生のフリーター志向に関する考察——自己効力感の視点から」『評論 社会科学』87；pp.95-116  
2010 「若年層における典型職・フリーターの内部の差異」『同志社社会学研究』14；pp.1-15
- [3] 2006 「現代大学生の職業選好——島根大学調査から」第57回関西社会学会大会（金沢大学）  
2006 「現代大学生のフリーター化に関する要因の再検討」第79回日本社会学会大会（立命館大学）  
2008 「若年層における正社員・フリーターの内部の差異」経済社会学会西部部会（神戸大学）
- [4] 「現代若者の職業および社会階層に関する実証的研究」博論構想発表会（2007）  
「現代日本における職業の意義とその社会的側面——新しい職業社会学の射程」博論構想発表会

(2009)

- [5] 「大学生のフリーター化に関する諸要因——自己効力感・社会観という視点を用いて」(2006)
- [6] 「現代日本における職業の意義とその社会的側面——職業社会学的研究」
- [7] [非常勤講師]
- 2006～ 島根大学法文学部「情報科学演習」(夏季集中講義)
- 2006～ 大阪人間科学大学人間科学部「社会統計学」(後期開講科目)
- 2007～ 京都女子大学現代社会学部「社会調査法Ⅰ」(前期開講科目)
2008. 8 松江総合医療専門学校介護福祉科「社会学」(夏季集中講義)
- 2008～ 大阪人間科学大学人間科学部「社会調査技術」(後期開講科目)
- 2009～ 摂南大学経営情報学部「社会学Ⅰ」(前期開講科目)
- 2009～ 摂南大学経営情報学部「社会学Ⅱ」(後期開講科目)
- [ティーチングアシスタント]
- 2004年度「社会調査実習(尾嶋史章)」
- 2006、2009年度「社会調査実習(小林久高)」
- 2007、2008、2009年度「社会学演習Ⅲ(小林久高)」
- [8] 2006, 雨森聡・山本圭三, 「SPSS マニュアル——データ読込から多変量解析まで」『2005年度社会調査実習報告書(担当教員:小林久高)』; pp.391-425
- 2007, 雨森聡・山本圭三, 「SPSS とエクセルによる社会調査データ分析入門」『2006年度社会調査実習報告書(担当教員:小林久高)』; pp.237-43
- 2007, 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「SPSS を用いた社会調査データの分析——シタックスの解説を中心に」『2006年度社会調査実習報告書(担当教員:小林久高)』; pp.245-281
- 2007 「若年におけるフリーター・正社員問題の再検討」鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想』[科学研究費補助金基盤研究(B)]; pp.95-109
- 2008, 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「社会調査データの入力とチェックの方法」『同志社社会学研究』12; pp.41-50
- 2008, 山本圭三・堺完, 「Scan Tools Plus マニュアル」(汎用型マークシート版質問紙調査開発とマークシートリーダー使用マニュアル作成プロジェクト、同志社大学社会学部)
- 2009, 小林久高・雨森聡・山本圭三, 「SPSS による社会調査データ分析入門——シタックスの解説を中心に」『同志社社会学研究』13; pp.45-76
- 2010, 小林久高・猿渡壮・山本圭三, 「エクセル入門」『2009年度社会調査実習報告書(担当教員:小林久高)』
- 2010, 山本圭三・張曉霖, 「文献検索と収集の基礎」『2009年度社会調査実習報告書(担当教員:小林久高)』
- [9] 関西社会学会 日本社会学会 日本労働社会学会 経済社会学会
- [10] 鳥取県立鳥取西高等学校卒業(1999)
- 島根大学法文学部社会システム学科卒業(2004)

同志社大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程修了 (2006)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学 (2006)  
専門社会調査士 (2006)

**Nicolle B. Comafay** (ニコール コマファイ)

- [1] 2008, コマファイ, ニコール・北浜陽子・飛岡香・立木茂雄「平成 19 年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究——要介護高齢者支援組織の対応過程分析より」『地域安全学会論文集』10; pp.521-30
- 2009, コマファイ, ニコール・中村千佳子・横田治郎・立木茂雄「神戸市兵庫区における障害者の災害時要援護度マッピングの実施研究——脆弱性の「人-環境相互作用モデル」に基づいて-」『地域安全学会論文集』11; pp.127-34 (地域安全学会論文奨励賞受賞)
- [2] 2009, 越智祐子・コマファイ, ニコール・立木茂雄「災害リスク回避行動の実証モデル構築の試み——災害時要援護者支援の視点から」『地域安全学会論文集』10; pp.465-72
- 2009, コマファイ, ニコール・メンセンディク, マーサ「在日フィリピン人コミュニティの自助組織活動 (特集外国人支援とソーシャルワーク)」『ソーシャルワーク研究』35(3); pp.189-97
- [3] 2006 “Filipino Identities in Flux: Catholic Church and Adopted Country,” Anthropology of Japan in Japan Spring Workshop (Doshisha University)
- 2006 “Social Integration of Filipinos in Japan: The Case of Kyoto Pag-asa Filipino Community,” Summer Conference of the Ateneo De Manila University Japanese Studies Program (Ateneo de Manila University)
- 2006 「在日フィリピン人とカトリック教会——京都市中京区西院教会を事例として」第 57 回関西社会学会大会 (金沢大学)
- 2006 「フィリピンコミュニティとカトリック教会——京都バグアサフィリピンコミュニティの事例として」第 11 回フィリピン研究会フォーラム (中京大学)
- 2007 “Community-Based Disaster Awareness and Preparedness: Lessons Learned from Local Communities Affected by the Noto Peninsula Earthquake,” 2nd International Conference on Urban Disaster Reduction (Taipei, Taiwan) Proceedings; p.166
- 2008 「Kyoto Association of Pinoy Scholars: A Filipino Scholar-Student Group in Japan」第 13 回フィリピン研究会フォーラム (同志社大学)
- 2008 「平成 19 年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する質的研究——要介護高齢者支援組織の対応過程分析より」第 23 回地域安全学会研究発表会 (秋季) 大会 (静岡県地震防災センター)『地域安全学会論文集』; pp.521-30
- 2009 「神戸市兵庫区における災害時要援護者支援体制の構築に関する研究——災害時要援護度マッピング」第 24 回地域安全学会 (春季) 大会 (桑名市長島防災コミュニティーセンター)『地域安全学会梗概集』; pp.43-46

- 2008 “A Church-based Community in Japan : Enhancing Ethnic Community-Based Social Work Capacity Thru Participatory Research,” 13<sup>th</sup> Asian Studies Conference in Japan (Sophia University)
- 2009 「神戸市兵庫区における障害者の災害時要援護度マッピングの実施研究——脆弱性の「人-環境相互作用モデル」に基づいて」第25回地域安全学会研究発表会（秋季）大会（静岡県地震防災センター）『地域安全学会論文集』；pp.127-134
- [4] 「平成19年能登半島地震における災害時要援護者への対応に関する実証的・理論的検討」第14回同志社社会学研究学会（2008）  
「災害時要援護者に関する災害社会学的研究」博論構想発表会（2009）
- [5] 「日本におけるフィリピン移民の教会とコミュニティー京都バグアサフィリピンコミュニティの事例から」（2007）
- [6] 「災害時要援護者に関する災害社会学的研究」
- [7] 2007年度 同志社大学「社会調査実習（越智祐子）」TA  
2007～2008年度 同志社大学「社会学演習Ⅲ（立木茂雄）」TA  
2007～2010年 「日本国内のフィリピン人コミュニティにおけるセルフヘルプ活動に関する調査（指導担当：Mensendiek, Martha 先生）」研究協力者
- [9] 関西社会学会 フィリピン研究会フォーラム 地域安全学会  
International Sociological Association
- [10] University of the Philippines Integrated School 高校卒業（1995）  
大阪外国語大学留学生日本語教育センター修了（2000）  
University of the Philippines 社会学部哲学専攻卒業（2001）  
University of the Philippines 大学院アジア研究科中退（2004）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻特別研究生（2004-2005）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程修了（2007）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学（2007）

多喜 弘文（タキ ヒロフミ／Taki Hirofumi）

- [2] 2008 「大学生男女の職業的階層志向の違いとその背後にあるもの」『同志社社会学研究』12；pp.27-40.
- [3] 2007 「大学生男女における階層志向の持つ意味の違い」第80回日本社会学会大会（関東学院大学）.
- 2008 「階層・意識・学力の関連構造とその背景——PISA 2003を用いた国際比較」第59回関西社会学会大会（松山大学）（関西社会学会大会奨励賞受賞）
- 2008 “Socioeconomic Status, Attitudes, and Test Scores : An International Comparison Using PISA 2003 Data”, ISA Research Committee on Social Stratification and Mobility (RC 28) (Stanford University, USA).

- 2009 「社会階層と学力の国際比較——PISA データを用いた階層線形モデルによる分析」第 61 回教育社会学会大会（早稲田大学）.
- 2009 “Distinguishing Characteristics of Education and Inequality in Japan”, ISA International Laboratory for Ph. D. Students in Sociology（Shonan Kokusai Village, Japan）.
- [4] 「教育と不平等の国際比較——日本の特徴についての実証的研究——」博論構想発表会（2009）
- [5] 「階層志向のエートス——現代社会において人びとを階層志向に向かわせる実践的起動力とは何か——」（2007）
- [6] 「教育と社会階層の国際比較研究」
- [7] [TA]
- 2007 年度「社会調査実習（小林大祐）」
- 2009 年前期 大学院「社会学研究法（尾嶋史章）」  
[非常勤助手]
- 2007 年後期 大阪人間科学大学「社会調査実習」
- 2008 年後期 大阪人間科学大学「社会調査実習」  
[非常勤講師]
- 2009 年～ 大阪人間科学大学「社会調査実習」
- [8] 2009 「学力規定要因の国際比較——教育システムの違いに着目して」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第 1 次報告書）』；pp.39-60（科学研究費補助金 [基盤研究（B）]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
- 2010 「日・米・独における進学期待・職業期待とトラッキング——学校と職業の接続に注目して」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第 2 次報告書）』；pp.1-17（科学研究費補助金 [基盤研究（B）]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）
- [9] 日本社会学会 関西社会学会 日本教育社会学会 国際社会学会
- [10] 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2005）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程前期課程修了（2007）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程後期課程入学（2007）  
専門社会調査士（2007）

坂野 誠（バンノ マコト／Banno Makoto）

- [6] 「習熟度別学習と進学アスピレーションについて」（2009 年度研究テーマ）
- [8] 2010 「PISA 調査から見た学習時間の研究——どのような生徒が勉強しないのか」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第 2 次報告書）』；pp.33-43（科学研究費補助金 [基盤研究（B）]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」）

- [10] 高等学校教諭  
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程（社会人）入学（2009）

巴 芳（ハ ヨシ／Ba Fang）

- [2] 2010 「中国における社会ネットワーク研究の進展とその変化——伝統ネットワークから趣味ネットワークへ」『同志社社会学研究』14；pp.17-29
- [3] 2009 「在日中国人の趣味ネットワーク——大阪におけるサッカークラブの事例から」第60回関西社会学会大会（京都大学）  
2009 「趣味ネットワークから見る定住過程と価値観の変化——大阪における在日中国人のサッカークラブを中心に」第82回日本社会学会大会（立教大学）
- [4] 「中国人社会における趣味ネットワークの研究——大阪・北京におけるフィールドワークを通じて」博論構想発表会（2009）
- [5] 「在日中国人の新しいネットワークと社会関係資本の形成分析——大阪国際FCの事例から」（2009）
- [6] 「中国人社会における趣味ネットワークの研究——大阪・北京におけるフィールドワークを通じて」
- [7] 「社会調査実習（鶴飼孝造）」（2009年度）TA  
「質的調査法（西川麦子）」（2009秋学期）チューター
- [8] 2010 「同志社大学社会学部新卒生の就職先と職種の分析」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育GP評価委員会；pp.39-48
- [9] 関西社会学会 日本社会学会
- [10] 中国東北大学 会計学学士取得（2001）  
佛教大学社会学部卒業（2006）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程修了（2009）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程入学（2009）  
専門社会調査士（2009）

白川 俊之（シラカワ トシユキ／Shirakawa Toshiyuki）

- [1] 2010 「配分格差評価としての領域別不公平感の規定構造——機会認知を介した社会階層との因果関係」『社会学評論』60(4)；pp.570-586
- [3] 2008 「現代日本の不平等意識と不公平感」第81回日本社会学会大会（東北大学）  
2009 「家族構成と教育の不平等——母子家庭と父子家庭の比較を中心に」第60回関西社会学会大会（京都大学）  
2009 “Single Parenthood and Children’s Academic Performance：The Comparison of Single-mother Family and Single-father Family,” *The 9th Conference of the Asia-Pacific Sociological Association* (Discovery Kartika Plaza Hotel, Bali, Indonesia).



- [ 5 ] 「社会的公正の計量分析——機会の平等と社会的不公平感」(2009)
- [ 6 ] 「東アジアにおける家族と教育の関連：欧米との比較研究をととして」(2009 年度研究テーマ)
- [ 7 ] 社会調査実習 (2006 平井順、2008 小林大祐) TA
- [ 8 ] 2007 「社会活動における女性の参加者層——教育の地位表示機能を手がかりに」 鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想 2006 年兵庫県県民調査報告書』; pp.131-148 (平成 16 年度～平成 19 年度科学研究費補助金 [基盤研究 (B)] 研究成果報告書)
- 2009 「ひとり親家族と教育——母子家庭と父子家庭のちがいに注目した PISA 2000 データの分析」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究 (第 1 次報告書)』; pp.23-37 (科学研究費補助金 [基盤研究 (B)] 「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」)
- 2009 「サンプル・ウェイトとリブリケート・ウェイト——二段階標本設計にもとづくデータの特徴と分析時の注意点」尾嶋 (2009) 所収; pp.61-88
- 2009 「情報機器の利用における格差と社会的文脈の変化——JGSS データを用いて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [9] JGSS で見た日本人の意識と行動』; pp.93-106
- 2010 「期待学歴に対する社会階層の 2 次効果——IEO・経路依存性・ジェンダー」尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究 (第 2 次報告書)』; pp.19-32 (科学研究費補助金 [基盤研究 (B)] 「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA データの分析を中心に」)
- 2010 「教育改革時代における大学と職業」『第 1 回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会; pp.27-37
- [10] 同志社大学文学部社会学科卒業 (2006)  
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程修了 (2009)  
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学 (2009)  
専門社会調査士 (資格申請中)

**田崎 俊之 (タサキ トシユキ/Tasaki Toshiyuki)**

- [ 1 ] 2009 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」『フォーラム現代社会学』8; pp.105-19 関西社会学会
- [ 3 ] 2008 「伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ」第 59 回関西社会学会大会 (松山大学) (関西社会学会大会奨励賞受賞)
- 2008 「実践コミュニティにおける多重成員性の問題——京都・伏見の日本酒製造業を事例に」第 81 回日本社会学会大会 (東北大学)
- [ 5 ] 「現代企業組織と企業横断型実践コミュニティ——伏見酒造業における酒造りの社員化を通して」(2009)
- [ 6 ] 「“わざ” をめぐる集団的学習プロセスの研究」

- [7] 社会調査実習（2006 河口充勇）TA  
質的調査法（2007–2008 西川麦子）TA  
社会学演習Ⅲ（2009 鶴飼孝造）TA
- [8] 2010 「高校生の職業展望における地位達成志向と充足志向——地位尺度と価値尺度を通して」  
尾嶋史章編『学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究（第2次報告書）』；pp.45–63  
（科学研究費補助金[基盤研究(B)]「学校教育と社会的不平等に関する国際比較研究：PISA  
データの分析を中心に」）  
2010 「学科別集計にみる学科の特性と傾向」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査  
報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.49–56
- [9] 日本社会学会 関西社会学会
- [10] 松山南高等学校卒業（2002）  
同志社大学文学部社会学科卒業（2006）  
同志社大学大学院社会学研究科博士前期課程卒業（2009）  
同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程入学（2009）  
専門社会調査士（資格申請中）

#### [博士前期課程]

林 佑美（ハヤシ ユミ／Hayashi Yumi）

- [10] 同志社大学経済学部卒業  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2007）

安田 昌史（ヤスダ マサシ／Yasuda Masashi）

- [5] 「伝統産業における在日コリアンのネットワーク」（2010）
- [7] 「社会学演習Ⅲ（2007 森川真規雄、2009 鯉坂学）」TA  
「社会調査実習（2008 板垣竜太）」TA
- [8] 『朝鮮学校の社会学的研究——京都朝鮮第三初級学校を中心に』（社会調査実習報告書分担執筆）
- [10] 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2007）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2010）  
同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程入学予定（2010）

黄 崑峯（コウ コンホウ／Huang Kunfeng）

- [2] 2010 「現代台湾における高学歴化の諸相－1980年代以降に注目して－」『同志社社会学研究』  
14；pp.31–46
- [5] 「台湾における高学歴化の要因とその影響——1980年代以降を中心に」（2010）
- [7] 「社会学演習Ⅲ（2007 鶴飼孝造）」TA

「社会調査実習（2008 パン・ジュイン）」TA

- [10] Ming Chuan University（銘伝大学）卒業  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2010）

井上多賀子（イノウエ タカコ／Inoue Takako）

- [5] 「地域婦人会の機能について」（予定）
- [10] 同志社高等学校卒業  
同志社大学経済学部卒業  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2008）

金 政芸（キム ジョンウン／Kim Jyoun）

- [5] 「ナショナリズムを求める人びと——権威主義・他者との連帯・他国への嫌悪感からみたナショナリズムの構造」（2010）
- [7] 「社会調査実習（2008 板垣竜太）」TA
- [8] 2010 「大学生の教育満足感と大学生活充実感を高める諸要因」『第1回同志社大学社会学部卒業生アンケート調査報告書』同志社大学社会学部教育 GP 評価委員会；pp.13-25
- [10] 同志社大学文学部社会学科卒業（2008）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了（2010）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学予定（2010）

前 奈緒子（マエ ナオコ／Mae Naoko）

- [5] 「インターネット・コミュニティ上での規範形成」（予定）
- [7] 「社会学演習Ⅲ（2009 藤本昌代）」TA
- [10] 同志社高等学校卒業  
同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業（2008）  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学（2008）

松川 杏寧（マツカワ アンナ／Matsukawa Anna）

- [1] 2009, 松川杏寧・鷹家光吾・立木茂雄「地域の安全性から探索する CPTED とソーシャル・キャピタルにおける防犯指標に関する研究——京都市内共同住宅地でのケーススタディ」『地域安全学会論文集』11；pp.115-25.
- [3] 2009, 地域安全学会春季研究発表会（一般論文発表）  
2009, 地域安全学会秋季研究発表会（研究発表）
- [5] 「地域の安全性から探索する CPTED とソーシャルキャピタルにおける防犯指標に関する事例研究——京都市内郊外部の2共同住宅地の比較から」（2010）
- [7] 社会学演習Ⅱ、Ⅲ（2009 立木茂雄）TA

- [ 9 ] 地域安全学会 同志社社会学研究学会
- [10] 大阪女学院高等学校卒業 (2002)  
Santa Monica Collag 卒業 (2005)  
University of California, Irvine 卒業 (2007)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程修了 (2010)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻後期課程入学予定 (2010)

岡本 洋一 (オカモト ヨウイチ / Okamoto Yoichi)

- [ 5 ] 「団塊の『世代現象』と戦後日本社会」(予定)
- [ 7 ] 2003~2004 大阪産業大学非常勤講師 (人間環境学部「広告論」)
- [10] 京都府立鴨沂高等学校卒業  
同志社大学文学部英文学科卒業  
広告会社勤務 (1974~2007)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2008)

猿渡 壮 (サルワタリ タケシ / Saruwatari Takeshi)

- [ 5 ] 「若者における政治参加の動機とその意味——個人の選択と集団の力」(予定)
- [10] 都立八王子東高等学校卒業  
同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業 (2008)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2008)

張 曉霖 (チョウ ギョウリン / Zhang Xiaolin)

- [ 7 ] 社会調査実習 (2009 河口充勇) TA
- [10] 同志社大学文学部社会学科社会学専攻卒業 (2008)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2008)

前久保智博 (マエクボ トモヒロ / Maekubo Tomohiro)

- [10] 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2009)

松本亜沙香 (マツモト アサカ / Matsumoto Asaka)

- [ 1 ] 2009, 松本亜沙香・立木茂雄「阪神・淡路大震災の神戸市内におけるアンケート震度および社会的脆弱性が建物被害や直接死者数に及ぼす影響に関する確認的研究」『地域安全学会論文集』11; pp.89-96.
- [ 2 ] 2009, 松本亜沙香・立木茂雄「阪神・淡路大震災における神戸市内の死者数に及ぼす建物被害・社会経済および地理空間要因の関連性に関する確認的研究」『地域安全学会梗概集』24;

pp.97-100.

- [3] 2009, 地域安全学会春季研究発表会 (一般論文)  
2009, 地域安全学会秋季研究発表会 (査読論文)
- [5] 「社会的脆弱性が震災における建物被害・死者数に及ぼす影響に関する研究」(予定)
- [7] 社会学演習Ⅲ (2009 立木茂雄) TA
- [8] 「社会調査実習」報告書 (2007)
- [9] 同志社社会学研究学会 地域安全学会
- [10] 帝塚山高等学校卒業 (2005)  
同志社大学社会学部社会学科卒業 (2009)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2009)

**野間 美樹 (ノマ ミキ/Noma Miki)**

- [5] 「温暖化論に見る情報の偏り」(予定)
- [8] 「産業調査実習」報告書
- [10] 京都市立堀川高等学校卒業  
同志社大学社会学部産業関係学科卒業 (2009)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2009)

**山田 航 (ヤマダ ワタル/Yamada Wataru)**

- [5] 「《デリダ〈社会学〉脱構築》」(予定)
- [10] 私立長野日本大学高等学校卒業 (2005)  
諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科卒業 (2009)  
同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学 (2009)

**[特別研究生]**

**崔 藍心 (サイ ランシン/Cui Lanxin)**

- [10] 同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻前期課程入学予定 (2010)

## 2009 年度 博士論文題目

氏 名	論 文 題 名
吉 田 崇	社会移動の持続と変容 ——世代間移動・職歴移動からみた戦後日本の流動性——

## 2009 年度 修士論文題目

氏 名	論 文 題 名
安 田 昌 史	伝統産業における在日コリアンのネットワーク ——京友禅従事者を事例に——
黄 崑 峯	台湾における高学歴化の要因とその影響 ——1980 年代以降を中心に——
金 政 芸	ナショナリズムを求める人びと ——権威主義・他者との連帯・他国への嫌悪感からみたナシ ョナリズムの構造——
松 川 杏 寧	地域の安全性から探索する CPTED とソーシャルキャピタル における防犯指標に関する事例研究 ——京都市内郊外部の 2 共同住宅地の比較から——

## 執筆者紹介

### 山本 圭三

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士後期課程  
社会意識論 職業社会学 社会階層論  
esg3401@mail2.doshisha.ac.jp

### 巴 芳

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士後期課程  
社会ネットワーク研究、文化社会学、移民社会研究  
fangfang0320@yahoo.co.jp

### 黄 崑峯

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士前期課程  
教育社会学、文化社会学、階層移動研究  
iamphilip@livedoor.com

### 片岡 佳美

島根大学法文学部社会文化学科  
家族社会学、ライフスタイル、農村社会研究  
kataoka@soc.shimane-u.ac.jp

### 飯田 剛史

大谷大学文学部社会学科  
エスニシティ研究、宗教社会学、移民社会研究  
iida@res.otani.ac.jp

### 森川眞規雄

同志社大学社会学部社会学科  
社会人類学、移民社会研究  
mmorikaw@mail.doshisha.ac.jp